

報道関係各位

四条繁栄会商店街振興組合
冬のアーケード装飾「四条 洛中洛外雲海図」

四条繁栄会商店街振興組合では毎年恒例のアーケード下に掲出する冬の装飾を、今年はこれまでにないデザインに一新たします。

新たな装飾は、16世紀初頭から数多く制作され、当時の京都の人々の暮らしや風俗が色濃く描かれた「洛中洛外図」からインスパイアされたものです。様々な色に発光する雲形の導光板「光る雲パネル」を四条通のアーケード下約1km（烏丸通～四条大橋西詰の南北両側）に連続的に吊り下げ、四条通を行き交うお客様も巻き込んだ形で「立体洛中洛外図」を疑似的に演出します。

また、掲出期間を前期と後期の2期に分け、「光る雲パネル」の色や点灯パターンを変化させて季節感・イベント感を表現し、雰囲気盛り上げます。

国内はもとより海外からのお客様にも四条通で、ぜひ歴史的絵画のアートをお楽しみいただければと存じます。

なお、この装飾は国内外で幅広く活動を行うアーティスト高橋匡太氏プロデュースです。

記

- 掲出期間 令和元年 1 1 月 2 3 日（土）～令和 2 年 1 月 3 1 日（金）予定
※前期と後期で、点灯カラー・点灯パターンを変化させます
 - ◎前期（クリスマスバージョン）
令和元年 1 1 月 2 3 日（土）～同 年 1 2 月 2 5 日（水）
 - ◎後期（新春バージョン）
令和元年 1 2 月 2 6 日（木）～令和 2 年 1 月 3 1 日（金）

- 掲出場所 四条通 烏丸通～四条大橋西詰のアーケード下約 1 km（南北両側）

- 装飾内容 雲形の亚克力板の上部にLEDを取り付け、亚克力板全体が上から下に向かってLEDの光で様々な色に変化する導光板の装飾大小2種類をセットにして、四条通のアーケード下約 1 8 0 ヲ所に吊り下げる

- お問い合わせ先 四条繁栄会商店街振興組合
〒600-8005 京都市下京区四条通麩屋町西入立売東町 24 番地
TEL 075-221-2408 /FAX 075-223-0586
MAIL office@kyoto-shijo.or.jp
【担当理事】
商店街活性化委員長 竹内伸一 (TEL 070-5650-1194)

以上

『四条 洛中洛外雲海図』 イメージ



【洛中洛外図】

京都の市街（洛中）と郊外（洛外）の景観や風俗を描いた屏風絵。16世紀初頭から江戸時代にかけて数多く制作された。天から鳥瞰された図の雲間には当時の京都の人々の暮らしや風俗が色濃く描かれる。



実物によるプレゼンテーションの様子。二十四節気をイメージした色味により、発光色を変化させる。



高橋匡太（アーティスト）

1970年京都生まれ。1995年京都市立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。

光や映像によるパブリックプロジェクション、インスタレーション、パフォーマンス公演など幅広く国内外で活動を行っている。東京駅100周年記念ライトアップ、京都・二条城、十和田市現代美術館、など大規模な建築物のライティングプロジェクトは、ダイナミックで造形的な映像と光の作品を創り出す。多くの人とともに作る「夢のたねプロジェクト」、「ひかりの実」、「ひかりの花畑」、「Glow with City Project」など大規模な参加型アートプロジェクトも数多く手がけている。

1995年キリンコンテンポラリーアワード'95最優秀作品賞、2005年京都府美術工芸新鋭選抜展2005最優秀賞、五島記念文化賞美術新人賞、グッドデザインアワード2005（環境デザイン部門）、2008年京都府文化賞奨励賞、2010年京都市芸術新人賞、DSA日本空間デザイン賞2015優秀賞、日本照明学会照明普及賞2017、照明デザイン賞2018審査員特別賞、AACA賞30周年記念美術工芸賞などを受賞。